

山梨
不登校の子どもを持つ
親たちの会

ぶどうの会

ぶどうの会事務局
〒405-0061

山梨県笛吹市一宮町石字京戸2359-102

鈴木正洋／鈴木はつみ

電話 0553-44-5078 ファックス 0553-44-5079

E-mail: kyodo-sanso@hb.tp1.jp

ひとりで悩んでい ないで ぶどうの会を訪れ てみませんか

月例会「不登校の子どもを持つ親たちの交流のつどい」

ぶどうの会では「辛いときにはいつでも参加できる場」としての例会を、最も重視して毎月開催しています。参加者が安心して語れる雰囲気を心がけています。

会員でなくても参加できます。随時30分程度のミニ講座を行う時もありますが、会の中心は語り合いです。

ぶどうの会の会報「ぶどう」の発行

毎月の例会参加者は20人前後です。毎月の例会に参加しなくても、つながりあっていることの安心感に結びつけられることを主な目的に、毎月発行しています。

ぶどうの会の講演会・講座の開催

- 2006年3月 西本勝美（都留文科大学教授）
「人間の生きる力とは？真の学力とは？」
- 2007年3月 梅原利夫（和光大学教授）
「子どもと歩いて親になる」
- 2007年12月 村越洋子（大月短期大学学長）
「家族-同時代を生きる仲間として」
- 2008年3月 不登校基礎講座 鈴木正洋
- 2009年3月 村上耕平（大阪教育文化センター）
「どの子どもも必ず立ち上がる」
- 2010年4月 梅原利夫（和光大学副学長）
「過剰 ストレス社会をすり抜けて生きる」
- 2011年4月 田中昌弥（都留文科大学教授）
「今、子どもたちが必要とする「学力」とは？」

ぶどうの会とは

ぶどうの会は、「すべての子ども達が、生き生きと自立へ向かって成長できることを願って、登校拒否・不登校・ひきこもりなどのことで、ひとりぼっちで悩む親や教職員がなくなるよう、お互いを支えあい、励ましあうとともに、一人ひとりの子どもたちの発達が保障される教育環境をすすめること」を目的にかかげ、父母と教職員が手をつないで、専門家をはじめ、登校拒否・不登校に関心のある個人や団体とともに学びあい、交流することを基本に活動を続けています。

ぶどうの会は、「信じて任せて待つ」を合言葉に、一人ひとりの親が世間体のしがらみを越えて、苦しみ悩むわが子を一人の人間として尊重し受け入れられる親に成長しようと、語り合ってきました。

子どもは一人ひとり個性がありますので、親の会の支えあいの中で、わが子に合った援助はそれぞれの親が学び取り、創り出していく必要があります。同時に専門家との交流を深め学ぶ中から「親こそ最大の援助者」の視点をつくりだしてきました。

これが私たちが不登校に関わってきて得た到達点です。

それは又、子どもたちが自立に向けて育つ道筋を見守り続けるための、親たちの新しい共同、支え合いの場にもなってきています。

これまでの出版物

- 『はばたけ子どもたち—日本西端の鳩間島にわが子を留学させて—』 2004年、A5判、自費出版
- 『不登校だったボクと島の物語』 2005年、A5判、ふきのとう書房
- 『希望紡いで—不登校、その意味と対応—』 2006年、A5判、自費出版
- 不登校、親の体験記『心から心へ』 2007年、A5判、新科学出版社
- 『信じて、任せて、待つ親たち—登校拒否・不登校と、どう向き合ってきたか—』 2010年、A5判、自費出版

私たちも
サポートしています



山梨学院大学教授
志村欣一さん



和光大学副学長
梅原利夫さん

子どもたちを真ん中に
ありのままの思いを語り合える親の会です

ぶどうの会の歩み

- 2004年 11月 山梨県で親のつどい初開催
- 2005年 8月 「全国のつどいin千葉」 / 9月会報「ぶどう」創刊
- 2006年 3月 ぶどうの会設立総会 / 第11回「全国のつどいin大阪」 / 会報「ぶどう」7号まで発行
- 2007年 3月 第2回総会 / 8月第12回「全国のつどいin宮崎」 / 9月親の不登校体験記『心から心へ』出版（新科学出版） / 12月『心から心へ』出版記念会 / 会報「ぶどう」12号まで発行
- 2008年 3月 第3回総会 / 会報「ぶどう」18号まで発行
- 2009年 3月 第4回総会 / 会報「ぶどう」27号まで発行
- 2010年 4月 5周年のつどい・総会 / 4月「ぶどう」投稿集『信じて任せて待つ親たち』出版（4月29日） / 会報「ぶどう」35号まで発行
- 2011年 4月 6周年のつどい・総会 / 12月親のつどい69回まで開催 / 会報「ぶどう」47号まで発行

注「全国のつどい」は「登校拒否・不登校問題全国のつどい」の略

登校拒否・不登校についての 相談や入会は

■面接相談(予約制)

- 不登校の親、子ども、若者の相談
- 進学、進路相談
- 支援団体、他機関の情報提供
 - ・面談時間約2時間
 - ・面談料 会員は無料（一般3000円）

■入会

- 年会費 4,000円
(ぶどうの会会費 2000円、全国連絡会会費2000円)
- 寄付金 1口1000円、2口より(賛助会員)
- 会員、寄付者には会報を送付します。

■月例会

- 「不登校の子どもを持つ親たちの交流のつどい」を毎月開催しています。(最終日曜日、午後1時30分～5時)
- 参加費 会員・賛助会員500円（一般は800円）

■お問い合わせは

0553-44-5078へ



代表 鈴木正洋

ひとりぼっちで悩む人をなくしたい

学校に行けなくなった子どもたちがいます。親はそのときどうしたらいいのか、わが子のことをどう受けとめたいのか悩みます。教師も立ち止まります。担任として学校としてどうかかわればいいのか、子どもの心がなかなか見えません。元気に学校に通ってほしい親の願い。どの子ども学校に来てほしい教師の願い。誰もが持つ願いがかなわないもどかしさから、家庭と学校のあいだに壁や溝が生まれることもあります。でも、子どもをまん中に、一緒に考えていけたら、こんなに心強いことはありません。